

子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業
(学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ)

防災キャンプ2016in京都

京都府教育委員会

【事業のポイント】

- 防災に関するさまざまな体験活動の実施
- 自然災害に関する基礎的な知識の習得
- 災害発生時の適切な対応等への理解とスキルの向上
- 防災への知識・理解、意識・関心の向上
- 協力団体・関係機関と連携したプログラムの実施
- 事業の計画・運営などを通じた関係団体によるネットワーク作り
- テーマ別、北部(水害)・南部(地震)の2会場での事業の実施



避難所生活に役立つグッズ

1. 企画

(1) 事業実施の背景

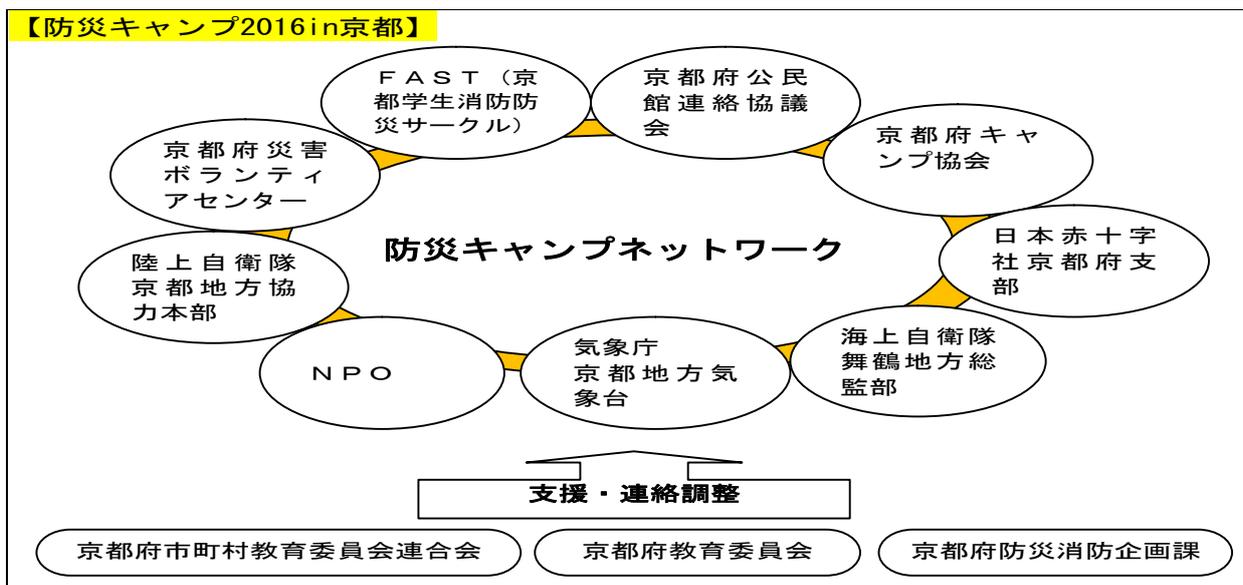
京都府では、平成24年8月に府南部を中心とした局地的豪雨が襲い、土砂災害や河川の氾濫により、多大な被害が発生。平成25年9月の台風18号では、特別警報が全国で初めて発令され、多くの浸水被害が発生。更に、平成26年8月豪雨では、府北部を中心に建物の浸水や道路・河川の損壊等の被害が生じた。さらに今年4月に熊本県を中心とした大地震が発生したことを踏まえ、府民の自然災害に対する知識や災害時の対応等について、意識や関心を高め、実践力を身につけることが必要である。そのため、京都府内の様々な関係者の協力を得ながら、地域の施設を避難所とした体験的な防災教育プログラムを取り入れた「防災キャンプ2016in京都」を実施する。

(2) ねらい

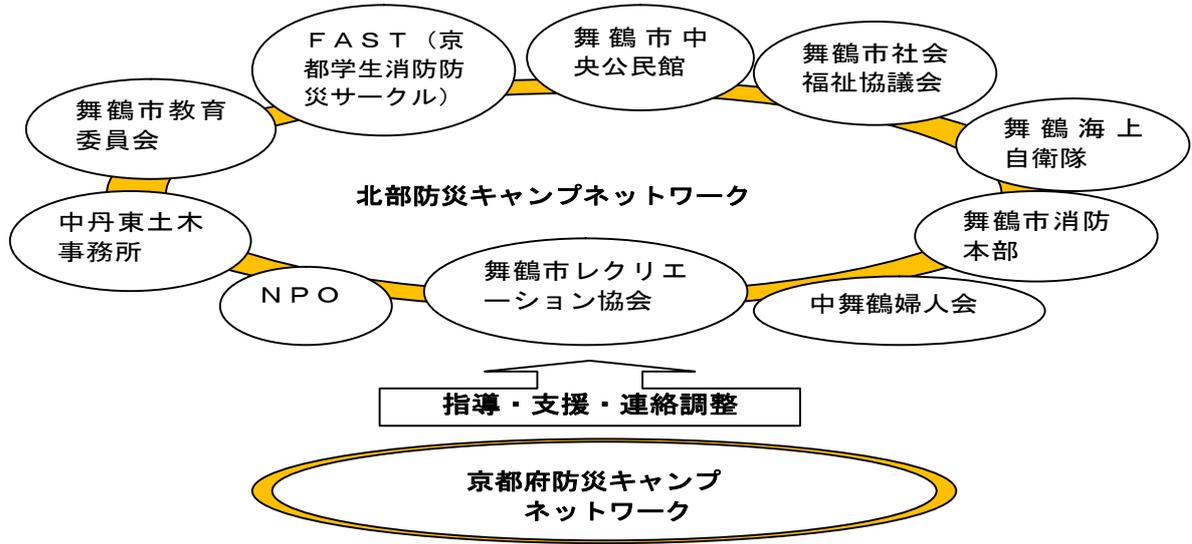
京都府では、青少年の体験活動の推進を図るために、地域の教育資源を活用し、公共の施設を避難所とした生活体験や体験的な防災教育プログラムを取り入れた「防災キャンプ2016in京都」を実施する。事業の実施にあたっては、地域の様々な関係者の協力を得ながら、会場を府北部会場と府南部会場に分けて実施する。各会場の地元関係者を運営委員会の一員とし、事業の円滑な運営と地域のネットワーク作りを進めながら、持続可能な事業とするために「地域プラットフォーム」の形成を図っていく。

2. 実施概要

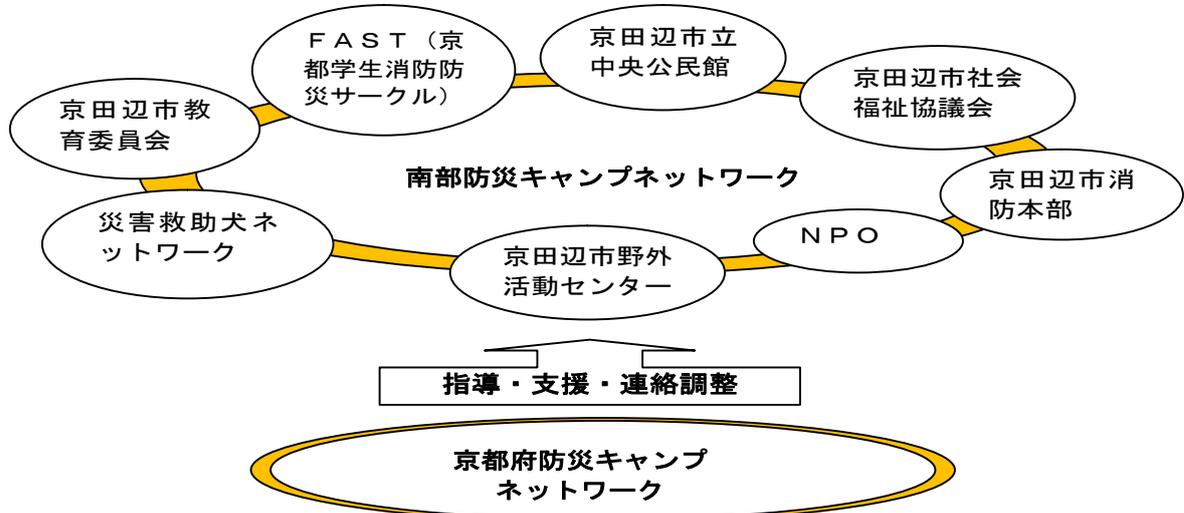
(1) 地域プラットフォームの構成



【防災キャンプ2016in京都（北部）】



【防災キャンプ2016in京都（南部）】



(2) 具体的な取組の概要

平成28年度防災キャンプ2016in京都（北部） 活動詳細

日時	プログラム	プログラム詳細
7月30日（土）	10:00 あいさつ オリエンテーション 開講式	  
	10:30 「～親子で考えよう～大雨と防災について」中丹東土木事務所 学び①	  

11:00 体験①	心肺蘇生法（PUSH法）・消火訓練 舞鶴市消防本部・舞鶴市東消防署			
12:30	非常食体験 中舞鶴婦人会ボランティアグループ			
13:30 学び②	災害ボランティア活動について 舞鶴市社会福祉協議会			
14:20 制作	避難所生活で役立つグッズ作り 舞鶴市レクリエーション協会			
14:20 体験②	海上自衛隊 護衛艦見学 海上自衛隊舞鶴地方総監部			
16:00 ふりかえり 16:30 閉講式	あいさつ ふりかえり（アンケート記入）			

平成28年度防災キャンプ2016in京都（南部） 活動詳細

日時	プログラム	プログラム詳細		
9月17日（土）				
10:00 開講式	あいさつ オリエンテーション			
10:20 学び①	「東日本大震災支援者体験について」立命館災害復興支援室			

11:00 ワークショップ「まもるいのちひろげるぼうさい」 日本赤十字社京都府支部

学び②
体験①



12:15 非常食体
験①

昼食「乾パン・水」

京都府教育庁指導部社会教育課



13:00 学び③
体験②

「地震のしくみや防災気象情報について」 気象庁・京都地方気象台



14:15 学び④

「災害ボランティア活動について」 京田辺市社会福祉協議会



15:00 体験③
(大人)

「HUG避難所運営ゲーム」

京都府教育庁指導部社会教育課



15:00 体験④
制作① (子
ども)

「防災DIY・防災探検」

京都学生FAST



16:45 制作②

「段ボールパーティション・寝床作り」 京都府キャンプ協会



18:00 非常食体
験②

夕食「パッククッキング」

京田辺市野外活動センター



20:00 体験⑤
体験⑥

「避難所生活のしかた」

「班ミーティング」



日時 プログラム	プログラム 詳細
9月18日(日)	
6:15 朝の体操 京都学生FAST	
6:30 段ボール撤収 京都府教育庁指導部社会教育課	
7:30 朝食「アルファ化米」 非常食体験③ 京都府教育庁指導部社会教育課	
9:00 「心肺蘇生法・消火訓練」 体験⑦ 京田辺市消防本部	
11:30 「体験・見学ブース」 体験⑧ 体験② 各関係団体	
12:00 昼食「炊き出し(おにぎり・豚汁)」 非常食体験④ 陸上自衛隊第3師団第3施設大隊 クッキングパパ	
13:00 「災害救助犬の活動を知ろう」 体験⑨ NPO災害救助犬ネットワーク	
14:00 あいさつ ふりかえり (アンケート記入) 14:30 閉講式	

平成28年度防災キャンプ2016in京都（南部）日帰り 活動詳細

日時	プログラム	プログラム詳細
9月18日（日）		
10:00 学び (選択)	「地震のしくみや防災気象情報について」	気象庁・京都地方気象台   
10:00 体験① (選択)	「HUG避難所運営ゲーム」	京都府教育庁指導部社会教育課   
11:00 体験②	「体験・見学ブース」	各関係団体   
12:00 非常食体験	昼食「炊き出し（おにぎり・豚汁）」	  
13:00 体験③	「災害救助犬の活動を知ろう」	NPO災害救助犬ネットワーク   
14:00 ふりかえり 14:30 閉講式	あいさつ ふりかえり（アンケート記入）	  

(5)実績スケジュール

月 日	内 容
4月	○事業日程の調整及び運営体制の検討、協力者調整
4月16日	○京都学生FAST会議
5月上旬	○「防災キャンプ2016in京都」募集チラシ作成
5月	○プログラム担当者との日程及び活動内容の調整
5月	○プログラム担当者との日程及び活動内容の調整
6月4日	○防災キャンプ事前研修会
6月6日	○「防災キャンプ2016in京都」募集チラシ配布

6月14日	○第1回京都府ネットワーク会議 ・日程及びプログラム内容
7月8日	○参加者の決定及び案内の発送
7月12日	○第1回北部ネットワーク会議 ・日程及びプログラム内容・準備物の詳細調整
7月28日	○北部参加者しおり(活動ノート)等の作成
7月30日	○「防災キャンプ2016in京都」北部会場実施(舞鶴市中央公民館)
8月5日	○第1回南部ネットワーク会議 ・日程及びプログラム内容・準備物の詳細調整
8月	○プログラム内容及び準備物の最終確認
9月15日	○南部参加者しおり(活動ノート)等の作成
9月17日～ 18日	○「防災キャンプ2016in京都」南部会場実施(京田辺市社会福祉センター) 1泊2日及び日帰り
11月8日	○第2回北部ネットワーク会議 ・「防災キャンプ2016in京都」概要報告及び評価・総括
11月29日	○第2回南部ネットワーク会議 ・「防災キャンプ2016in京都」概要報告及び評価・総括
12月9日	○第2回京都府ネットワーク会議 ・「防災キャンプ2016in京都」概要報告及び評価・総括
2月20日	○普及・啓発 ・京都学生FASTネットワーク会議 「防災キャンプ2016in京都」概要報告等
3月1日	○普及・啓発 ・防災キャンプニュース発行
3月17日	○普及・啓発 ・京都府公民館連絡協議会評議員会 「防災キャンプ2016in京都」概要報告等

3. 成果と課題

(1) 成果

【成果】

○防災キャンプを通じてネットワークを広げ、地域のつながりを深めたり、事業所同士が繋がったりすることを目的としていたが、3つのネットワークの開催など、つながりを広げることができた。

○公民館や社会福祉施設は、実際に緊急避難場所となる会場であり、より現実に近い避難所生活が体験できた。また、実際に生活している場所から近い会場で防災キャンプを実施することで、参加者の防災意識をより高めることができ、地域全体のつながり(ネットワーク)ができた。

○避難所体験は、見ず知らずの人とパーティションを作成することで、自らが考え、互いに協力・工夫して行動するプログラムとなった。地域の人たちと協力する必要性も感じ、地元地域での自らの役割についても考えるきっかけとなった。

【参加者の意見】

○これから地域で防災ネットワークを作る上で地域の特性を十分に考慮し、あらゆる事態に遭っても全ての住民が安全に避難でき、避難所においても可能な限りストレスがたまらないようにシステムが構築できるようにしたい。(一般)

○普段と違って、不自由な中での生活だけれど、普段できない体験ができたのでよかった。楽しみながら勉強ができた。カレーライスや段ボールパーティションは完成したときとてもうれしかった。教えてもらったことをしっかり覚えておきたい。(小学生)

(2) 課題

◆ 防災キャンプを充実させるために様々な体験プログラムを計画し、参加者の評価は高くなっているが、地域の特性を十分活かしているものとはなっていない。それぞれの地域の各種団体と連携し参加者のニーズに応じた、質の高い防災体験プログラムを作り上げていくことが必要である。

◆ 今まで個別で活動してきた地域の各種団体と連携し、防災体験プログラムを柱とした新たなネットワーク作りを進めてきた。新たに連携したネットワークを活用し、それぞれの団体が主体的に活動を進めていける体制を作り、持続可能なものとなるよう支援していくことが必要である。

4. 地域プラットフォームの展望(今後の方向性・取組等)

青少年の体験活動の充実を図るために、「防災キャンプ」を中心とした人と人とのネットワークを広げ、情報交換や情報の共有をさらに進める。

平成29年度は、引き続き京都府内南北2箇所を公民館を会場とし、地域の様々な関係者の協力を得ながら、公共の施設を避難所とした生活体験や体験的な防災教育プログラムを取り入れた「防災キャンプ2017in京都」を実施する。また、防災キャンプで実施した体験プログラムや参加者の感想をまとめた防災ニュースを作成、配布し、事業成果を啓発する。

平成30年度以降は、防災キャンプで構築したネットワークを活かして、府内各地で防災を中心とした青少年の体験活動やネットワークがさらに広がるように支援していく。

5. 団体プロフィール

〒602-8570

京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府教育庁指導部社会教育課

TEL 075-414-5886

FAX 074-414-5888

URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/syakyou/>



京都府庁(旧館) 国の重要文化財